

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第 63 回(令和 3 年度第 6 回)理事会議事録

日 時:令和 4 年 2 月 4 日(金) 15:00~17:00

開 催:web 会議

出席者:大賀 正一(理事長)、米田 光宏、滝田 順子(以上副理事長)、小川 千登世、高橋 義行、
多賀 崇、奥山 宏臣、淵本 康史、菱木 知郎、藤 浩、滝 智彦、盛武 浩、松本 公一、
井上 健、康 勝好、塩飽 仁、(以上理事)
檜山 英三(以上監事)
井上 雅美(第 63 回学術集会会長)、真部 淳(第 65 回学術集会会長)
足立 壮一(JCCG 理事長)
余谷 暢之(オブザーバー)

(事務局は東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバン 4 階にて参加)

欠席者:西川 亮、天野 功二(以上理事)、越永 従道(第 64 回学術集会会長)

議長:大賀理事長

本日の理事出席者は 18 名中 16 名であるため、定款施行細則第 8 条第 3 項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、以下の議案について逐次審議に入った。

I. 前回理事会議事録(案)の確認

議長より、前回議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の松本理事より、資料をもとに、現在の会員数の報告とともに入会申請者 12 名(全員医師)が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. 評議員更新資格審査について

評議員等資格審査委員会の井上担当理事より評議員の資格喪失について報告がなされた。2 年連続計 4 回の社員総会を、定められた事前の出欠連絡等が無く欠席した評議員の欠席理由が、定款施行細則第 3 条にある「正当性」を満たさないとして、2 名の評議員の資格喪失が異議なく承認された。

3. 学術集会における倫理的配慮

学術集会プログラム委員の米田担当理事より、日本小児血液・がん学会学術集会で発表される研究についての倫理的配慮について、患者(研究対象者)の尊厳と人権を守るため、法令・指針等を遵守すること、また、倫理審査が必要な演題に関しては、倫理審査委員会、認定臨床研究審査委員会の承認、あるいは未承認・適応外薬使用などの審査委員会、施設長の許可などの必要な手続きを経た上で発表を行う必要があり、倫理的な手続きが不十分な場合には、演題が不採用になることなどについて報告され、異議なく承認された。

4. 健常小児ドナーからの骨髄・末梢血幹細胞採取に関するガイドライン

診療ガイドライン委員会の多賀担当理事より、診療ガイドライン委員会で承認後にパブコメを実施、また、JSPHO、JSTCT、輸血学会からの提言を踏まえた「健常小児ドナーからの骨髄・末梢血幹細胞採取に関するガイドライン」の改訂案について報告がなされ、異議なく承認された。

5. 学会賞等検討事項について

学術賞選考委員会の滝田担当理事より、各賞の規程作成に伴う検討事項について報告がなされ、下記について、委員会で引き続き検討を行うこととなった。

<大谷賞>

- ・規程案を作成することには賛成。年齢制限については、再度委員会での検討を行う
- ・約10年後を目処に財源が無くなる見込みであるため、その後について、賞の授与を終了するか、財源を学会が負担して継続するか、寄付を募り財源を確保して継続するかなど、今後については検討を重ねる

<学術賞>

- ・規程案の年齢制限を設けることには賛成、年齢に関しては再度委員会で検討を行う。

<新規の証の創設について>

- ・大谷賞、学術賞の規程の再検討し、その内容を鑑みた上で委員会、理事会で検討を進める。

6. 海外留学助成覚書について

教育研修委員会の盛武担当理事より、公益財団法人がんの子どもを守る会の事業である「海外留学助成」に関して、本学会が依頼され、実施している「派遣医療者選考業務」についての覚書を交わすことが報告され、異議なく承認された。

7. 「骨髄微小残存病変量測定」検査施設の認定について

保険診療委員会の小川担当理事より、「骨髄微小残存病変量測定」検査施設4施設(保険医療機関1施設、衛生検査所3施設)からの更新審査を行ったことが報告され、異議なく承認された。

8. 日本腫瘍循環器学会からの「アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の心毒性の発症抑制におけるデクスラゾキサンの適応外使用要望書」の提出に関するご協力をお願い

保険診療委員会の小川担当理事より、日本腫瘍循環器学会からの依頼である「アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の心毒性の発症抑制におけるデクスラゾキサンの適応外使用要望書」の成人領域と小児領域の協同申請に関して、小児の要望については未承認薬適応外薬検討会議に要望を提出することに賛同とし、成人要望の対象については55年通知の活用も選択肢の一つとする再検討を求め、態度保留での回答とすることが意義なく承認された。

9. 日本製薬工業協会 レジストリ調査の報告書及びWEB掲載について

保険診療委員会の小川担当理事より、9月17日の理事会にて報告した日本製薬工業協会で行ったレジストリ調査の一覧へ、本会の疾患登録の掲載を依頼されたことが報告され、異議なく承認された。

10. 小児期発症 血液・腫瘍疾患患者のための成人医療移行支援ガイド

長期フォローアップ・移行期医療委員会の松本理事より、学会パブリックコメントを踏まえた「小児期発症血液・腫瘍疾患患者のための成人医療移行支援ガイド」の最終案が提示され、HP への掲載についても異議なく承認された。

11. 小児がん疼痛に関するガイドライン WPG への協力について

余谷オブザーバーより、特定非営利活動法人日本緩和医療学会が作成を進めている「小児がん疼痛に関するガイドライン」の WPG へ、本会からの外部委員派遣依頼を受けたことについて報告がなされ、2 名の委員を選出することが意義なく承認された。

12. CNJ レモネードスタンドジャパン第 5 次助成申請について

大賀理事長より、キャンサーネットジャパン(以下 CNJ)のレモネードスタンドジャパンの第 5 次助成申請を行ったことが報告された。本助成には疫学調査とその研究報告などへの使用目的で申請しており、本年より CNJ からの依頼を受けた講演へ登壇する講師への謝金としても運用することが提案され、異議なく承認された。

13. 利益相反申告書の様式改訂について

利益相反委員会の奥山担当理事より、記載漏れなどが多く見受けられる申告書の様式の改訂案が提示され、異議なく承認された。

14. 日本専門医機構への家族会要望書案について

専門医制度委員会の米田担当理事より、日本専門医機構へのサブスペシャルティ領域専門医制度の機構認定申請に伴い、患者家族会からの要望書を提出することが報告され、異議なく承認された。

報告事項

1. 第 63 回学術集会について

井上会長より、第 63 回学術集会(2021 年 11 月 25 日～27 日)についての開催報告がなされた。参加登録総数は 1,771 名であり、内訳は下記のとおりである。

参加登録総数 1,771 名

<内訳>

医師:1,006 名

看護師:316 名

医師・看護師以外:227 名(コメディカル、企業)

医学部学生・看護学生:78 名

小児(AYA)がん患者・経験者・ご家族・支援者 39 名

招待:21 名

小児血液がん学会名誉会員:84 名

2. 第 65 回学術集会について

第 65 回学術集会 真部会長より、第 65 回学術集会(2023 年 9 月 29 日～札幌開催)の委託運営事務局について、本理事会終了後 WEB コンペを実施し、参加 4 社より選定を行うことが報告された。

3. 学術集会における倫理的配慮について

倫理委員会の奥山担当理事より、学術集会プログラム委員会の審議事項にも挙げられた学術集会における倫理的配慮について進めていることが報告された。

4. 第 63 回学術集会優秀ポスター賞の選定について

学術集会プログラム委員会の米田担当理事より、第 63 回学術集会優秀ポスター賞の選定について、学術集会プログラム委員による選定の結果、下記 15 演題に決定したことが報告された。

演者	所属	演題名
原(野上) 愛	就実大学薬学部薬効解析学	併用薬の影響に着目したL-アスパラギナーゼアレルギーのリスク管理
為房 宏輔	岡山大学病院小児科	ギルテリチニブによる維持療法を行ったFLT3-ITD変異陽性MDR-AMLの1例
渡辺 浩良	徳島大学病院小児科	皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫(SPTCL)様T細胞リンパ腫(γ δ phenotype)の幼児例
鷺尾 佳奈	岡山大学病院小児科	シタラピン少量療法前に肝生検を行った一過性骨髄異常増殖症のダウン症乳児 3症例の報告
白山 理恵	済生会八幡総合病院小児科	2000年代出生の血友病患者におけるスポーツ参加とスポーツ関連出血
高山 早紀	聖隷浜松病院小児科	Congenital self-healing reticulohistiocytosisの2例
高瀬 雄介	長崎大学病院小児科	B-cell expansion with NF- κ B and T-cell anergy (BENTA)の母児例
本田 護	埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科	KIAA1549-BRAF融合遺伝子を有する治療抵抗性視神経膠腫におけるTrametinibの使用経験
小森 宏樹	神奈川県立こども医療センター 血液・腫瘍科	オプソクロモス・ミオクロモス症候群を合併した神経芽腫5例の検討
田中 邦昭	兵庫県立尼崎医療センター小児血液腫瘍科	卵巣未熟奇形腫切除後のgliomatosis pritonei発症例における分子遺伝学的検討
後藤 洋徳	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野	新規IQSEC1-RAF1融合遺伝子異常を伴った小児膝芽腫
矢本 真也	静岡県立こども病院小児外科	門脈閉塞を合併した巨大脾腫瘍に対するTemporary REX bypass併用、脾体尾部切除、門脈再建術
松本 尚也	神奈川県立こども医療センター血液・腫瘍科	VPシャントを介して髄腔内投与を行った側弯症の女児例
島崎 貴子	埼玉県立小児医療センター 保健発達部	就学前小児がん患者の発達に影響を与える因子の検討
加藤 陽子	東京慈恵会医科大学附属第三病院輸血部/小児科	東京都内における小児への在宅輸血の現状と課題

5. 診療ガイドライン委員会報告

診療ガイドライン委員会の多賀担当理事より、下記 3 件について報告がなされた。

- ①小児白血病・リンパ腫診療ガイドラインおよび小児がん診療ガイドライン 2016 年版改訂について
- ②3 件の転載許諾について対応について
- ③「健常小児ドナーからの骨髄・末梢血幹細胞採取ガイドライン」について

6. 疾患登録のデータの活用について

疾患委員会の康担当理事より、疾患登録のデータの活用について提議がなされた。まずは、学術調査委員会にて、現在の症例登録の状況を確認・整理を行い、今後のデータ活用について検討することとなった。

7. 教育セッション「キーワードスライド」の取り決めについて

教育・研修委員会の盛武担当理事より、教育セッション キーワードスライドの取り決めについて報告がなされた。

8. 新制度・研修施設群の新規申請の現況について

専門医制度委員会の米田担当理事より、新制度・研修施設群の新規申請の現況について報告がなされた。詳細は下記の通り。

新制度・研修施設群の申請書提出状況(1/19 現在)

申請を受理した施設数 105

施設群(数) 23

親施設(数) 23

子施設(数) 59

単独申請(数) 23

※既存 104 研修施設のうち、98 施設から申請(兵庫医大、大阪医科薬科大、愛知医大、福岡大和歌山日赤、香川大の 6 施設は申請しないことを確認)

※新規申請の施設は7施設(岐阜大学、名古屋市立大学、済生会横浜市南部、関西医大、佐賀医大、沖縄県立こども医療 C、群馬大学)で、いずれも関連研修施設(子施設)の申請。

9. 保険診療委員会報告

保険診療委員会の小川担当理事より、以下についての報告がなされた。

①開発候補医薬品の推薦依頼について

「治験・臨床試験を機動的かつ円滑に実施するためのサポート機能に関する研究」(令和 3 年度 AMED 臨床研究・治験推進研究事業)からの依頼を受け、42 の応募の中から、優先候補を A、それ以外を B として提出した。

②オルガランの供給停止について

学会員より、現在も使用している非常に有効な薬剤であり、販売継続を強く要望するとの要望を受け、共和クリティケア株式会社に対し、供給停止には同意できない旨を伝えた。(ただし、原末の供給不能によるため、2022 年度までの供給となる見込み)

③令和 4 年度診療報酬改定について

医療技術評価分科会報告にて、JSPHO からの提案項目はいずれも改訂対象とならなかった。評価は以下の通り。

- ・携帯型精密輸液ポンプ加算:別途評価を行うべき根拠が十分に示されていない。
- ・在宅悪性腫瘍等患者指導管理料:別途評価を行うべき根拠が十分に示されていない。
- ・がんゲノムプロファイリング検査:中医協総会において、当該提案の全部又は一部に係るテーマについて議論が行われている。

④未承認薬適応外薬検討会議への要望提出

メルファランの網膜芽細胞腫に対する眼動脈内注入の適応拡大につき要望書を提出した。

⑤「小児医薬品の実用化に資するレギュラトリーサイエンス研究」班への資料提出

10. 国際委員会報告

国際委員会の菱木担当理事より、毎年開催している日韓合同シンポジウムについて、今年は血友病をテーマに進めていることが報告された。

11. 長期フォローアップ・移行期医療委員会報告

長期フォローアップ・移行期医療委員会の松本理事より、以下について報告がなされた。

- ・LCAS は例年通りに順調に開催
- ・新コンテンツとして、「e-ランニング」を作成中である

12. 遺伝性腫瘍委員会報告

遺伝性腫瘍委員会の大賀理事より、第 81 回日本癌学会学術集会との共同シンポジウムの依頼を受けて企画を進めていることが報告された。

13. 女性医師活躍支援委員会報告

女性医師活躍支援委員会の滝田理事より、女性医師の就職情報支援に関して、研修認定施設へのアンケート実施について報告がなされた。

理事長報告

1) 役員選挙投票スケジュール変更について

以下のスケジュールについて、2 月下旬～3 月上旬に案内メール&ハガキを送付予定であることが報告された。

<理事・監事選挙>

投票期間:2022 年 3 月 22 日(火)15:00～3 月 29 日(火)15:00

選挙結果:4 月上旬に公示

<理事長選挙>

投票期間:2022 年月 25 日(月)15:00～5 月 2 日(月)15:00

立候補受付期限:2022 年 4 月 18 日(月)必着(郵送)

選挙結果:5 月中旬に公示

2) ヘルシー・ソサエティ賞、日本学術振興会賞の学会推薦公募について

3) 助成金受給について

疫学研究に関する補助金として、以下 2 団体からの助成金の受給について報告がなされた。

一般社団法人日本血液学会より 1,600,000 円

認定 NPO 法人ゴールドリボン・ネットワークより 2,000,000 円(例年は 2,500,000 円)

4) 今後の理事会・社員総会日程について

以下の通り確認された。

<理事会>

3 月 25 日(金)、5 月 27 日(金)、7 月 29 日(金) 15:00～17:00

<社員総会>

・定時社員総会:2022年7月1日、2日、8日、9日で調整

・臨時社員総会:2022年11月25日(金)15:00～(14:30～授賞式)

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和4年2月4日

日本小児血液・がん学会 第64回理事会

理事長 大賀正一 ㊟

監事 檜山英三 ㊟